

令和 5 年第 4 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
12 月 5 日 (火)	1	1	荒 木 吉 登 議員	2
	2	2	浅 田 直 幸 議員	4
	3	3	平 井 満 洋 議員	4
	4	4	西 川 勝 則 議員	6
12 月 6 日 (水)	5	1	打 田 清 議員	7
	6	2	百 岳 一 彦 議員	9
	7	3	瀧 瀬 栄 子 議員	9
	8	4	片 山 智 弘 議員	11
12 月 7 日 (木)	9	1	田 川 正 毅 議員	13
	10	2	戸 浦 善 彦 議員	14
	11	3	杉 山 誠 治 議員	15

西 海 市 議 会

1. 荒 木 吉 登 議員

質問事項 1

市道の整備について

質問の要旨

令和3年第3回定例市議会の私の一般質問で、市内道路の管理状況について、道路の亀裂や陥没、側溝の堆積物等への対応は、緊急性があり、放置してしまうと道路沿いの住民や周辺住民に危険を及ぼす可能性が高いことから早急に調査確認し、優先的に整備できないか質問したが、次の点について伺う。

- (1) その後の対応状況として、特に民家等に危険をもたらす箇所等の把握及び整備の進捗状況を伺う。
- (2) 本市では、自治会が行う市道の除草作業に対して報償金を交付しているが、除草作業に合わせて道路側溝の堆積物の除去作業を行っている自治会もある。側溝に土砂などの堆積物が詰まっていることで豪雨などにより、雨水が道路上に溢れ出し、道路決壊による人的被害が発生する恐れがあることから、住民や民家への安全対策のためにも側溝の堆積物の除去は早急に進めなければならないと考える。そこで除草作業と同様に側溝の堆積物の除去作業に対しても報償金が交付できないか伺う。
- (3) 道路の凹凸等により車両通行時に支障を及ぼす箇所は少なくない。整備が遅れ、その結果生じる事故による損害賠償の案件も度々見受けられることから、今後の対策を伺う。
- (4) 市が令和4年度に導入したパトロール車の活動状況及び導入に伴う道路管理の改善状況について伺う。

質問事項 2

農地等土羽の整備について

質問の要旨

農道ののり面、農地の畔など草刈作業は通常、年間4回ほど行われ、特に夏場の除草作業は農家に大きな負担となっている。そのような中、佐賀県有田町北ノ川内地区では、令和元年6月より、水田の畔や道路ののり面などの草刈りに係る負担を減らす取り組みを行っている。これは、センチピードグラスという芝の種子を畦畔に吹付け、地面を覆った芝が雑草抑制を図るというもので、同地区では県の助成を受け、種子の吹付けを行う機械を購入し、自分たちで種子の吹付け作業を実施している。その結果、除草作業の負担が軽減されたとして、農地への種子吹付け作業の依

頼が増加していると聞く。このことから、本市でも農道ののり面や田畑の畔等でセンチピードグラスを用いた雑草抑制に取り組むモデルケースが実施できないか伺う。

質問事項 3

西彼杵道路建設事業化に伴う周辺のまちづくりについて

質問の要旨

西彼杵道路の整備については、令和4年度に西彼町平山郷から白似田郷までの区間である大串白似田バイパスが事業化され、完成までおおよそ10年の計画とされている。当該整備事業の実施に伴い、国道206号周辺地域の活性化に向けた対策について早急に取り組む必要があると考えることから、次の点について伺う。

- (1) 道路整備に係る用地買収などの交渉事については、遅延することなく進めていくために、本市が積極的に取り組む必要があると思うが、市長の考えを伺う。
- (2) 大串白似田バイパスの完成後、従来の国道206号における西彼町小迎郷から白似田郷までの区間の交通量は減少する可能性が高い。国道206号沿線の地域振興を維持するためには、農協、漁協、森林組合及び商工会等との連携が重要と考えるが、市長の見解と今後の対応について伺う。
- (3) 10年後の大串白似田バイパスの完成に向けた国道206号周辺地域のまちづくり構想について伺う。
- (4) 西彼杵道路と長崎南北幹線道路の完成を見据えた施策の推進が必要と思うが、西彼南部の国道206号周辺地域の住宅促進に向け、現在どのように取り組んでいるのか伺う。
- (5) 大串白似田バイパスの事業化に伴い、パールテクノ西海の企業誘致活動は、新たな戦略が必要と思うが、今後どのように進めるのか伺う。

質問事項 4

市長の職員指導について

質問の要旨

近年、本市職員の不祥事が相次いで発覚しており、ヒューマンエラーによるものや、西海ふるさと便事業のように悪意を伴う事例も存在している。その原因究明の検証や報告等に関する説明は納得性に欠けている。これらの問題を背景に、市長としての職員に対する指導・監督の要領について見直しを考慮すべきと考えるが、今後の職員の不祥事防止への取り組みについて、どのような見識を持っているのか伺う。

う。

2. 浅田直幸議員

質問事項 1

消防団格納庫への防犯カメラ設置について

質問の要旨

過去、分団格納庫から燃料等の盗難が発生した事例があった。最近、また、ある分団格納庫で消防ポンプ車から直接、燃料を抜き出された事件が発生した。そこで、今後、こういった事件が起きないように、抑止力効果も兼ねて、防犯カメラを分団格納庫に設置するべきだと思うが市長の考えを伺う。

質問事項 2

崎戸海浜公園の整備について

質問の要旨

現在、海浜公園の砂浜において、入口の階段近くまで砂が押し寄せている。その為、風でその砂が公園周辺や道路にまで飛散し、堆積している状況である。元の美しい景観になるように、堆積した砂の除去と浜辺の砂を移動させる工事ができないか伺う。

質問事項 3

平島の市営住宅の活用について

質問の要旨

平島の市営住宅については、ここ数年入居者が無く、空き家状態であり、今後もこのような状況が続けば、朽ちていくばかりだと思う。市営住宅の用途を廃止し、市民や旅行者、工事事業者等の宿泊所としての活用等も視野に入れ、有効活用を検討する必要があると思うが、市長の考えを伺う。

3. 平井満洋議員

質問事項 1

旧長崎オランダ村Cゾーンについて

質問の要旨

- (1) 市長が言う一団の土地において、建物 21 棟、土地 71 筆の評価が 9 月 18 日以降に出されると、令和 5 年第 3 回定例会において答弁を受けた。その事を踏まえ、今後の C ゾーンの利活用計画を改めて伺う。
- (2) 海上にあるデッキ及び建物の解体について、漁協との協議は進められているのか伺う。

質問事項 2

災害対策について

質問の要旨

- (1) 10 月 27 日に強い寒気の影響で西彼町や西海町等において、午前 8 時 30 分頃より 1 時間程降り続いた雨に混じり、その間 30 分以上に亘り雹が降った。その大きさはパチンコ玉サイズからゴルフボールサイズのものであった。降雹により、農産物や畜産の建屋等が甚大な被害を受けている。市長は、同月 29 日に被害状況を視察し、長崎県知事も 11 月 10 日に現地視察をしている。本市内では、西彼町において特に被害が集中しており、私自身も初めての雹被害を受け、自然の脅威を感じている。今回の被害に対する的確な対応は勿論のことだが、今後起こりうる突発的な災害に備え、被害状況が分かる写真を撮影しておくなど、その後の各種手続に向け、被害を受けた場合にとるべき行動や手続の内容等を示したマニュアルを整備し、市民に周知する考えはないか伺う。
- (2) 今回の降雹により、市道等に木の葉や枝の飛散が多く見られ、近隣住民がその後の処理を行うなどして対応したが、市の対応が十分であったのか検証の必要があると考える。その上で、今回のような突発的な災害が発生した場合、市道の清掃や散乱した葉や枝の処理について、今後市はどのような対応策を考えているのか伺う。

質問事項 3

松島架橋について

質問の要旨

松島架橋をテーマとしたこども絵画コンテストが令和 5 年度も行なわれたが、市民全体の関心はまだ十分でないと感じることから、架橋実現のため、市全体の機運醸成に繋がるようなイベントの開催などに発展させて行く考えはないか伺う。

質問事項 4

一般廃棄物最終処分場について

質問の要旨

令和 5 年第 3 回定例市議会の予算決算常任委員会の審査において、大瀬戸最終処分場に次ぐ新たな最終処分場候補地の選定作業を行っているとの説明を受けたが、現在の進捗状況を伺う。

4. 西 川 勝 則 議員

質問事項 1

西海市地域公共交通計画について

質問の要旨

令和 5 年 3 月に策定された西海市地域交通計画は、第 2 次西海市総合計画後期基本計画及び第 2 期西海市まち・ひと・しごと総合戦略を上位計画として位置づけており、また、長崎県地域公共交通計画にも整合・連携した、本市公共交通のマスタープランとなっている。このことから以下の事について伺う。

- (1) 第 2 次西海市総合計画後期基本計画及び第 2 期西海市まち・ひと・しごと総合戦略において、「生涯にわたり活躍できる人づくり」を基本目標とし、公共交通に関する内容として、「高齢者の社会参加促進を図るため、交通費に関する支援を行う」、「障がい者(児)等の社会参加促進のため、交通費の助成を行う」、また、「義務教育の円滑な実施を推進するため、通学費の補助やスクールバス等の交通手段を確保する」を掲げているが、各事業をどのように評価しているのか伺う。
- (2) 市長肝いりである「さいかいスマイルワゴン」について、西海市地域交通計画によれば、令和 2 年度利用者数は 8,540 人で、令和 8 年度の目標値として、約 30%増の 11,025 人を掲げているが、現在の運行方法で達成できる見込みはあるのか伺う。
- (3) 西海市地域交通計画の公共交通に対する市民アンケートによると、運転免許の返納意向について、75 歳以上の 194 人の回答者のうち、26.3%が数年後に返納したいと回答している。認知機能や身体機能の低下等により自動車等の運転に不安を有する高齢者等については、交通事故防止の観点からも自主的に運転免許証を返納することを推奨すべきと考える。この取組みのため、自主返納し申請すれば交付される運転経歴証明書を提示することでサービスを受けられるような事業を実施できないか伺う。

質問事項 2

旧崎戸総合支所及び旧西海総合支所の今後の活用について

質問の要旨

令和 5 年度当初予算にて支所旧庁舎解体事業が計上され、今後、西海総合支所及び崎戸総合支所の旧庁舎の解体が進められると思うが、各旧庁舎の解体後の跡地活用については、どのように計画しているのか伺う。

5. 打 田 清 議員

質問事項 1

西海市民の生命と財産の安全確保について

質問の要旨

昨今の世界情勢を見ると、ロシアのウクライナ侵攻や中東での戦闘など、多くの地域で一般市民を巻き込んだ悲惨な戦争が起きている。

アジア地域においても、中国の海洋進出や台湾有事など軍事的な緊張が高まっている。昨年 8 月には、台湾問題をめぐり、中国が与那国島の沖合に向け弾道ミサイルを発射した。このような状況の中で、沖縄の自治体からは国に対して「シェルター」の建設支援を求める声が上がっている。

また、台湾有事が起こった場合には、米軍基地や自衛隊施設もミサイル攻撃の目標になり得る危険も多大である。そこで、次の点について伺う。

- (1) 西海町にも米軍横瀬貯油所や L C A C 基地があり、ミサイル攻撃の対象となり得ると考えられる。このことから、西海町内にもシェルターなどの避難施設が必要だと思うが、市長の見解を伺う。
- (2) 避難施設の設置が必要と考える場合は、国に対して設置を要望する考えがあるか伺う。
- (3) 10 月 19 付長崎新聞の報道によると、国は台湾有事が起こった場合には、沖縄・石垣島など先島諸島 5 市町村の住民ら約 12 万人を九州全域で受入れる態勢が必要だと想定している。避難計画は政府が統括し、九州各県、市町村がそれぞれ策定するとしている。そこで、要請があれば、西海市は計画を策定し、避難民を受け入れる考えがあるか伺う。

質問事項 2

大瀬戸総合運動公園体育館の空調設備整備及びトイレ改修について

質問の要旨

- (1) 大瀬戸総合運動公園体育館は、以前より市民スポーツや小中高生の球技競技の会場として利用されているが、近年は、異常気象による高温の日が多く、総務省消防庁の「全国の熱中症による救急搬送状況」によると今年8月27日までの1週間で7,424人が救急搬送され、前年同期の2倍以上となっている状況であり、空調設備を導入する体育館も増加していると聞く。

また、西彼杵高等学校バレーボール部監督の井上博明氏からは、交流があるVリーグの有名チームからホームゲームを実施したい旨の申し出を受けているものの、その条件として空調設備の完備を求められていると聞いている。

そこで、利用する市民や小中高生等の選手・関係者の熱中症対策のためにも、体育館内に空調設備を設置することが有意義と考えるが、見解を伺う。

- (2) 当該体育館のトイレが和式となっており、体育館利用者が、屋外駐車場の洋式トイレを使用していると聞く。

このようなことから、トイレの快適性の向上及び大瀬戸総合運動公園体育館のイメージアップに繋がることから、洋式トイレに改修すべきと思うが、見解を伺う。

質問事項 3

音楽プロモーション事業について

質問の要旨

音楽プロモーション事業については、令和5年第3回定例市議会でも一般質問で事業の進捗状況を尋ねた。その後、西海町内の小学校3校を回り、校長・教頭先生から意見を聞いたところ、本物の楽器に触れたり、演奏を聴いたりできることは、子どもたちにとっては、とても素晴らしい経験となり、情操教育にも繋がるのではないかとのことであった。

本年度は、当該事業の予算として200万円が計上され、中村先生からは、大崎中学校・大崎高等学校の吹奏楽部の練習のサポートやパフォーマンス改善等の助言を頂くなどして、この事業が進められている。

については、来年度は各小学校に吹奏楽器の配置をし、子どもたちが実際に楽器を演奏する機会をつくり、また、中高生の生の演奏を聴いたりする事業に取り組む考えはないか見解を伺う。

6. 百 岳 一 彦 議員

質問事項 1

定住・移住政策について

質問の要旨

- (1) 市内への定住促進策として、大島町中戸夕映台、大瀬戸緑ヶ丘団地の宅地分譲を進めているが販売が進んでいないことから、早期完売に向け、新たな対策を講じる考えはないか伺う。また、需要が高い地域には宅地造成を積極的に進めてはどうか市長の考えを伺う。
- (2) 市内で住宅建設を望む市民が、希望地域での宅地不足から市外に建設せざるを得ないという事態が起こっているとの声を聞く。このことについて、専門部署を設置し定住促進事業の推進を掲げてきた市長の所感を伺う。
- (3) 令和4年第1回定例市議会の同僚議員の一般質問において、市内定住見込者の住宅確保の計画に関する質問に対し、「西彼町北部地区には投資意欲の高い事業者もいることから、効率的により多くの住宅供給を実現するため、金融機関などにも協力をいただきながら、周辺部の市の遊休財産などの情報提供を図るとともに、民間賃貸住宅整備費補助金等による支援に努め、投資の促進を図っていきたい」旨の答弁であったが、具体的な進捗状況と関係機関との協議経過について伺う。
- (4) 移住政策については、ウェブサイトやSNSを通じた情報発信等により、西海市への移住の認知度は向上していると評価するが、実際に移住者は増加しているのか伺う。また、令和4年度主要施策成果説明書に記載されているような、空き家や社宅用空き家に対する補助金、移住相談等の施策に加え、新たな移住者増加のための取り組みが必要と考えるが、市長の考えを伺う。

7. 湊 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

ケア労働者の処遇改善と人材確保について

質問の要旨

福祉・介護・保育・医療などの現場は人との接触が必要な仕事であり、コロナ禍のもとそこで働くケア労働者のご苦勞と事業者の運営は大変であったものと改めて思慮する。

私達の暮らしを支える仕事でありながら、ケア労働者の給与は全産業平均より低

い状況であり、現場は慢性的な人手不足となっている。人材を確保するには処遇改善は不可欠である。

そのような中、一定の処遇改善が措置されたが、今般、関係事業所の協力の下、現場で働くケア労働者約 330 人を対象に私が独自に実施したアンケートでは、職場の労働者の状況を尋ねた問いの回答は、令和 5 年 11 月 14 日時点において「人手不足になっている」86 人、「人手は足りている」24 人、「わからない」11 人、「記入なし」2 人であった。また、処遇改善を尋ねた問いの回答は、「実感できている」36 人、「実感できていない」47 人、「変わらない」31 人、「下がっている」7 人、「記入なし」2 人であった。このアンケート結果を踏まえて以下の点について伺う。

- (1) 西海市の事業所において、令和 4 年 2 月から 9 月の間に実施された県事業の「福祉・介護等処遇改善臨時特例事業」や市事業の「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業」・「放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業」による、収入を 3 % 程度、月額 9,000 円を引き上げる措置の実施状況について伺う。また、令和 4 年 10 月以降の報酬改定や公定価格の対応による収入引き上げ措置の実施状況について伺う。
- (2) 西海市の事業所において、技能・経験に応じた「特定処遇改善」による福祉・介護・保育などの労働者の処遇改善の実施状況について伺う。
- (3) 国は、保育士 1 人がみる子どもの人数の配置基準を、0 歳児は 3 人、1～2 歳児は 6 人、3 歳児は 20 人、4～5 歳児は 30 人と定めている。この配置基準では子どもに寄り添う保育ができず安全も守れないと、事業所が独自に職員を増やし対応していると聞き及んでいる。しかし、事業所の収入は入所する子どもの人数で決まるため、上回る分の職員の給与などは事業所の負担増となるが、本市の状況について伺う。
- (4) 令和 4 年第 2 回定例市議会の一般質問において、同僚議員が介護職の不足を尋ねたところ、令和 4 年 3 月現在、ハローワーク西海の数字で介護職の月間の求人数に関して 79 名との答弁があったが、直近の数字とそのことにより介護サービス提供に支障が出ていないのか伺う。
- (5) 令和 4 年度西海市一般会計決算認定についての審査において、5 歳児健診で発達支援が必要と分かっても、療育の受け皿が足りず希望しても即利用することができないとの報告があったが、発達支援や放課後等ディサービスの待機児童解消に向けて関係事業所の人材確保などの問題を市として、どのように捉え解決する考えか伺う。
- (6) ケア労働者の配置基準や処遇改善は、第一義的には国の責任で対応すべきもの

であることから、私は令和5年10月25日に厚生労働省に申し入れを行ったが、市としての対応も必要であると思うことから、これまでの国への働きかけと市独自の取組状況について伺う。

質問事項2

指定管理者制度の運用について

質問の要旨

物価高騰と最低賃金の引き上げは、西海市の公共施設の管理を任せられている指定管理者にとっては、その影響が大きく運営に苦慮されているとの声が寄せられている。

指定管理に関する基本協定書のリスク分担表において、物価変動とされている人件費・物件費等物価変動に伴う経費の増は、指定管理者の負担となっているが、一般の物価は協定書締結時には想定されないような高騰となっており、また、令和5年10月13日に発効された長崎県の最低賃金である時間額は45円引き上げられ898円となっている。

総務省からの令和4年10月11日付けの通知「原材料価格、エネルギーコスト等の上昇に係る指定管理者制度の運用の留意点について」に沿って、通常の物価変動リスクと切り離し不測のリスクとして、市が指定管理者と協議し、単価の上昇分について市が支援し対応をした自治体があるが、本市の場合はどのように対応しているのか伺う。

8. 片山智弘議員

質問事項1

西海市内における入浴施設について

質問の要旨

- (1) 本市の入浴施設でもある大瀬戸社会福祉センター及び西彼保健福祉センターは市民の健康保持増進のため設置されているが、昨今の燃料費や人件費など高騰を踏まえたうえで入浴施設の運営にかかる収支についてどのような考えがあるか伺う。
- (2) 大瀬戸社会福祉センターと西彼保健福祉センターの入浴施設における入湯税および利用料金を改める考えはないか伺う。

質問事項 2

マイナンバーカードの利活用による業務改善について

質問の要旨

大瀬戸社会福祉センター及び西彼保健福祉センターでは、入浴する際、利用者は毎回手書きで氏名・住所等の記入が必要であり、利用手続きが煩雑であるが、このような状況は他の施設における利用手続きでも見受けられるところである。

本市においては、マイナンバーカードの交付率が 78.59%と高い交付水準であることから、これを活用し、市の施設を利用する際、非接触型のカードリーダーを導入するなどして、マイナンバーカードによる利用手続きを可能とすることで、利用者の施設利用に係る手続きを簡略化するとともに、利用状況のデータを集積し市の施設運営の改善に役立ててはどうかと考えるが、市長の考えを伺う。

また、当該方法による市のデータ集積によるメリットや更なるマイナンバーカードの普及促進効果を考慮し、マイナンバーカードを使用して手続きをした施設利用者の利用料について割引を行う考えはないか、併せて伺う。

質問事項 3

E B P Mについて

質問の要旨

「証拠に基づく政策立案」とされるエビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング（以下E B P M）について「平成 30 年度内閣府本府E B P M取組方針」では、取組方針として「政策の企画立案をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで政策効果の測定に重要な関連を持つ情報やデータ（エビデンス）に基づくものとする」と示されており、令和 5 年 6 月には「令和 5 年度内閣府本府におけるE B P Mの取組方針」として、「行政事業レビューシートを活用し、より効果的な政策の立案・改善に努めることを推進する」などの方針が打ち出されている。本市の政策立案において、E B P Mの活用状況と今後の方針について伺う。

質問事項 4

消火栓について

質問の要旨

本市の消火栓において、スタンドパイプ付地下式のものが存在しているが、経年劣化によりパイプが引き上げ困難なものがある。速やかな消火活動を行うために消

火栓を更新する考えはないか伺う。

9. 田 川 正 毅 議員

質問事項 1

ドローン技術を活用したまちづくりの実践について

質問の要旨

(1) 現在、世界的にドローン技術の開発が進んでいる。日本でも「空の産業革命」として、国を挙げてドローンを活用した事業を推進している。

物流や災害対応、インフラの点検、また、農林水産業分野における農薬・肥料散布や森林資源情報の把握、漁場探索など多様な分野での利活用が期待されている。

平島・江島・松島等の離島や山間部を含め広範囲の面積を有する西海市においても、上記のようなドローンを活用した事業展開が有効であると考える。

各分野におけるドローンの利活用についての可能性と今後の取組について伺う。

(2) 他自治体では、「空の産業革命」に対応するために、子供たちに操縦やプログラミングによる自動飛行などの体験学習を実施している。今後、市内小中学校に対する講習、体験学習やドローンクラブの設立を行う考えはないか伺う。

質問事項 2

「西海市森林・林業成長産業化戦略プラン」の進捗状況と今後の方針について

質問の要旨

(1) 本市では、豊富な森林資源を活かした林業の持続的な発展及び脱炭素社会貢献への施策として、「西海市森林・林業成長産業化戦略プラン」を打ち出している。当該事業における、センダンの木の植樹、タイニーハウス事業、木質バイオマス事業の進捗状況と今後の方針・戦略を伺う。

(2) 西海市の市有林の多くはヒノキが占めており、樹齢も 50 年～60 年となり主伐の時期にある。伐採後の植樹については、花粉症対策として花粉が少ない苗木の植樹をすることが望ましいと考える。

本国では、苗木の生産量は平成 25 年 5600 万本まで減少したが、令和元年度には 6500 万本と回復基調にある。しかし、生産業者が高齢化し、その数は減少している。

他自治体では行政の支援により、林業と福祉の連携に取り組み、障害福祉サービスの事業者が、苗木の生産を実現した事例がある。西海市においても森林環境譲与税等を活用し、「林福連携」による苗木生産を推進する考えはないか伺う。

10. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

西海市内の小中学校を取り巻く諸課題について

質問の要旨

学校現場では、ギャングエイジ世代の行き過ぎた行動や不登校等をはじめとして、子ども達の問題は深刻な事態に陥っていると感じている。これらの問題を解決していくためには、子ども達の自己有用感を高めることや創造性を育む教育を進め、目の前の問題を自ら解決していく力を強くしていく必要があると思うが、教育長の考えを伺う。

質問事項 2

西海市内の地域集落を取り巻く諸課題について

質問の要旨

本市は、人口減少と過疎化により地域コミュニティが弱体化し、また、一方では高齢化や後継者不足による労働力の低下のため耕作放棄地が増加しているなど、地域が疲弊していると感じる。

そのような中、産業建設常任委員会の行政視察で伺った神奈川県大井町では、農業体験の拠点の充実を図り、交流人口の増加や地域の活性化を目指した農業と連携した観光事業に取り組んでいる。

そこで、本市においても、地域住民とともに先祖伝来の豊かな土地と景観を活かすため、大井町の取組み事例を参考に地域一帯をまるごと農業公園化し観光拠点として整備する考えはないか伺う。

質問事項 3

西彼杵道路の改善について

質問の要旨

- (1) デジタル社会の中、西海パールラインの料金所はいまだにETC化されておらず、料金所で渋滞が発生することがある。コロナ終息後、今後活性化するのであ

う人流物流を考慮して、西海市の玄関口である西海パールライン料金所のE T C化の改善に向けて働きかけるべきと思うが、市長の考えを伺う。

- (2) 西彼杵道路の一部において、道路の一部が歪み、沈下したことで雨天時に水たまりができるなど路面の状態が悪く、轍になっている箇所が見受けられることから早急な補修について県と協議ができないか伺う。

質問事項 4

西海市D Xの進め方について

質問の要旨

西海市の事務効率化に向けて、D X推進の部署が新たに設置されたが、これまでの事務処理の問題解決と職員の負担軽減が図られているのか伺う。

質問事項 5

時代に即した新庁舎建設について

質問の要旨

現在の市役所本庁舎は、駐車場不足や土砂災害警戒区域に含まれているという問題が存在している。また分庁方式により利便性が悪く、更に本庁舎、別館及び総合支所の運用による経費の増大等の課題が山積しており、新庁舎建設は喫緊の課題であるとする。

人口減少と職員数の削減が見込まれる今後、業務の効率化と市役所の機能強化を図るためには、分庁及び総合支所方式を解消し、防災面や市域を考慮した場所に本庁の行政機能を統合した新庁舎を早期に建設すべきと思うが、市長の見解を伺う

11. 杉 山 誠 治 議員

質問事項 1

動物愛護・管理について

質問の要旨

近年、飼い猫や野良猫によるふん尿や鳴き声による騒音、また、無責任な餌やりによる野良猫の増加が問題視されているが、本市においてもそのような状況に苦慮しているとの声が寄せられている。この対策として野良猫の繁殖を抑えることが有効と考えるが飼い猫の不妊・去勢手術を行う飼育者に対して、助成金を交付する考えはないか伺う。また、第2次西海市総合計画後期基本計画において、犬・猫の適

正飼育の推進を掲げていることから、飼い猫の適正飼育に関して、広報紙や看板設置等で注意喚起できないか伺う。

質問事項 2

住宅政策について

質問の要旨

- (1) 大島町の県営住宅の廃止に伴う移転の対象者から市に何らかの相談はあっているのか伺う。
- (2) 入居を募集していない市営住宅があると思われるが、募集していない理由を伺う。

質問事項 3

アピアランスケア用品に対する助成について

質問の要旨

がん患者には、治療に伴う外見の変化に心を痛めている人がいる。治療代がかかるうえ、これらの用品は高額で、負担が大きい。そういった市民の社会参加を支援するため、ウィッグや人工乳房などのアピアランスケア用品に対し助成制度が必要ではないかと思うが、いかがか。